

北海道 e-水プロジェクト助成制度

2020 年助成 公募要領

● 上限 200 万円コース ●

● 上限 10 万円コース ●



北海道e-水プロジェクト

事務局 公益財団法人北海道環境財団

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL (011)218-7811(代表) FAX (011)218-7812

はじめに

21世紀は水の世紀とも言われており、北海道の豊かな水資源は、今後、世界的にも貴重なものになると考えられています。人類も生物多様性を構成する生物の一員であり、生物多様性にとって非常に重要で貴重な北海道の水資源を保全し、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、未来に引き継いでいくことが重要です。

このようなことから、（公財）北海道環境財団（以下「財団」という。）では、水辺（川、海、湖沼など）において水質浄化、環境学習会や研修会、水源の森づくり、生態系に配慮した川づくり、在来種の回復・外来種の駆除などの環境保全活動に取り組む団体等の「事業」を支援いたします。

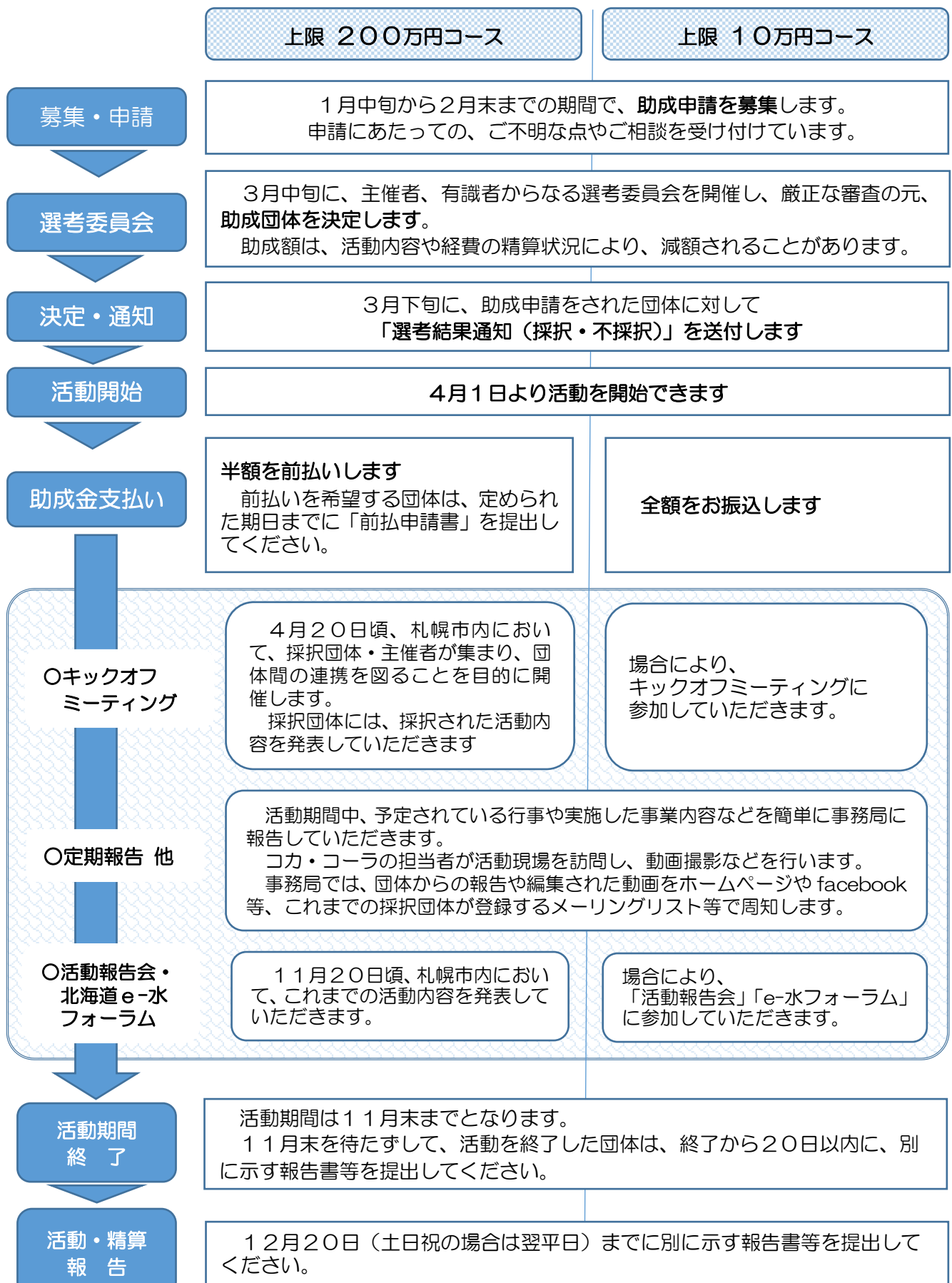
おかげさまで持ちまして、北海道 e-水プロジェクトは、2019 年に 10 周年を迎えることができました。これもひとえに、これまで「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインをご愛飲いただいた皆さま、そして北海道の水辺環境の保全に日々ご尽力されている活動団体の皆さまのご協力のおかげと感謝しております。誠にありがとうございます。

この制度は、これまで北海道コカ・コーラボトリング（株）（以下「コカ・コーラ」という。）が製造・販売するコーヒー「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売上げの一部の寄付を原資として助成制度を運用して参りましたが、すでに発表されておりますとおり、2019 年 11 月より対象商品が「い・ろ・は・す天然水」555ml ペットボトルに変更となりました。これまで同様、本事業推進のためにも引き続きご協力をお願い致します。

さらに、10 周年を機に、ご応募いただく活動団体の対象と事業規模の拡大を目的として、助成額の上限を 200 万円に増額するほか、新たに上限 10 万円の助成コースを設けました。これにより本要領も大きく変わっておりますので、よくお読みになってから応募をお願いいたします。

北海道の水辺の環境保全のために活動する皆さまのたくさんの応募をお待ちしております。

北海道 e-水プロジェクト 事業実施の流れと年間スケジュール



2020 年「北海道 e-水プロジェクト」助成事業公募要領

1 対象となる団体（または流域ネットワーク）

この助成を受けることができる対象は、道内の水辺（川、海、湖沼など）における環境保全のための事業を行う団体（または流域ネットワーク）で、原則として次の要件の全てを満たしている必要があります。

流域ネットワークとは？

流域ネットワークとは、流域全体または一部の環境保全に向け事業を実施する複数の関係者、団体等により構成されている組織をさします。

A 団体の場合

- (1) 北海道内の水辺の環境保全のための事業実施が可能な非営利の団体であること。
- (2) 規約及び構成員名簿を有していること。
- (3) 組織の意思決定により事業執行ができ、確実な経理処理ができること。
- (4) 代表者・連絡責任者が明らかであること。

B 流域ネットワークの場合

- (1) 北海道内の水辺の環境保全のための事業実施が可能な、活動流域を同じくする2つ以上の関係者（自然保護団体、NPO、農協、漁協、観光協会、学校、町内会、行政など）で構成されている、非営利のネットワーク等であること。
- (2) 規約及び構成団体の名簿を有していること。
- (3) 流域ネットワークの意思決定により事業執行ができ、確実な経理処理ができる団体が存在すること。
- (4) 代表団体・代表者・連絡責任者が明らかであること。
- (5) 当制度へ申請することがネットワーク内で合意されていること（当制度への申請以降に、構成・加盟団体が増えることにおいては問題ございません。但し、加盟の際にしっかりと流域ネットワーク行動計画書（別記第5号様式）にある「流域の水環境の現状と課題」などの意識、目的の共有をお願いします）。

※ 上記 A で申請しようとする団体が、別案件で同時に上記 B の代表団体又は構成団体として申請することもできます。

2 対象となる事業

北海道内の水辺（川、海、湖沼など）における環境保全活動を行う団体（または流域ネットワーク）が実施する事業。例えば、水辺に関わる地域や流域をフィールドとして行う水質浄化などの環境保全活動や環境教育のための観察会、体験学習、セミナー、情報提供などが対象となります。

<具体例>

- ① 環境保全のための水質調査、水質浄化、植樹、清掃活動、外来種の駆除、希少種の保護
- ② 普及啓発のための自然観察会や水生生物調査、漂着物調査、体験活動、セミナー開催、パンフレット・教材などの作成

- ③ ①、②事業実施に関わる器材（水質検査キット、双眼鏡等）を購入し、継続的に市民へ貸出

3 対象となる事業の実施期間

2020年4月1日（水）～2020年11月30日（月）

4 助成申請額と採択件数

助成コースは下記の2つのコースがありますので、事業内容に応じて選択の上応募してください。申請は、上限200万円コース、上限10万円コースの各コースにつき1事業までとします。併願は可能ですが、申請書はそれぞれ必要となり、採択はいずれか一方のコースのみとなります。また、助成総額は、700万円を予定しております。

（1）上限200万円コース

1事業あたり 200万円を上限とします。採択件数は、8件程度を予定しています。

※ 半額の前払いを希望することができます。

（2）上限10万円コース

1事業あたり10万円を上限とし、上限200万円コースを含めた助成総額の範囲内で採択件数を決定いたします。

※ 当年5月中に助成金全額をお振込みいたします。

5 対象となる経費

（1）上限200万円コース

事業の実施に必要な経費は、下記のとおりです。対象とする経費は上記3の期間において活動に直接必要な経費とし、常勤的職員の人件費や事務所等の維持管理のための経費などは含まれません。なお、助成額は、審査の段階で減額されることがありますので、ご注意ください。

① 謝金

講師や専門家などへの謝礼等（※ 団体、流域ネットワークの構成団体役職員等への謝金は認められません）

② 旅費

航空機・鉄道・バス・船舶などの運賃、宿泊費、高速道路通行料、ガソリン代等

※ガソリン代は、対象事業以外の経費と区別するため、根拠（例：15円/km×●km）をお示しください。

③ 備品・消耗品費

文房具、雑貨、コピー用紙などの消耗品類、材料の購入費等のほか、活動に必要な備品

④ 食料費

お弁当や飲み物などの食料費（酒類を除く）

⑤ 印刷製本費

パンフレット、チラシ、ポスター、会議資料、報告書などの印刷費（コピー代含む）

⑥ 借料・損料

会場使用料、機材借上料、貸切バス・レンタカーなど

⑦ 通信運搬費

各種郵送費、託送費

⑧ 賃金

事業実施のために雇入れた専従職員（臨時職員、アルバイトなど）への賃金・通勤費等
※源泉徴収義務者に合致する団体は、申告義務などが生じますので、ご注意ください。

⑨ 委託費

申込団体では実施が難しく、他の事業者等へ調査や作業を発注する際に発生する費用を指します。委託費が突出していると自らの団体が行う事業と見なされない可能性がありますので、ご注意ください。

⑩ 雑費

振込手数料などの各種手数料、損害保険料、駐車代など上記科目に分類できない少額の支出。

⑪ 一般管理費（上記以外全体に関わる費用）

団体の管理費や申込活動にかかる団体役職員の人件費などを使途とし、その金額は申込合計額の20%または10万円のいずれか少ない方を上限とします。一般管理費を積算した場合で、助成金額の減額査定が行われた際には、査定後の決定額を元に上限を設定します。また支出実績が、助成決定額に満たなかった場合も精算合計額を元に上限を設定します。

（2）上限 10 万円コース

上限 10 万円コースは、採択事業のための支出であれば資金使途自由ですが、支出内容を「（別記第 4 号様式（共通））3.対象経費の内訳書」に記載の上、併せて申請してください。また、酒類や一般常識に照らして使途が不適切と考えられる支出は認められません。ご不明の点は、事前に事務局にお問い合わせください。

【注意事項】

- ア. 上記に類する経費であっても、経費の算出根拠などが不適当と判断される経費については対象経費から外れる場合がありますので、十分に留意してください。
- イ. 活動に必要な備品（5万円以上の物品）も助成金で購入することができますが、重要なのは「活動」そのものですので、購入の必要性が説明可能で、かつ全体費用に占める割合が突出することのないようご注意ください。
- ウ. 備品同様、酒類を除く食料費についても支出ができます。一人当たりの限度額等は設けませんが、必要性が認められる範囲となるようご注意ください。
- エ. 次のように、活動に直接必要な経費以外を含む経費については、対象になりません。
 - ・ 申請事業には関係のない経費
 - ・ 小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校など教育機関における本来の授業カリキュラムに対する経費
 - ・ その他、上記に類する経費で助成対象としてふさわしくないと認められる経費

6 申請の手続き

事業実施を希望する団体は、以下の提出書類をすべて揃え、**2020年2月28日（金）（※18時必着）**までに財団あてに郵送又は持参してください（FAX・電子メールでの提出は不可）。

【団体単体の場合】

- ① （別記第1号様式）北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）「1. 団体の概要」
- ② （別記第3号様式）「2. 申請活動の内容」※上限10万円コースは一部記入不要
- ③ （別記第4号様式）「3. 対象経費の内訳書」

- ④ 団体等の規約等
- ⑤ 構成員、または構成団体の名簿^{注)}

【流域ネットワークの場合】

- ① (別記第2号様式) 北海道e-水プロジェクト助成申請書(流域ネットワーク用)「1.流域ネットワークの概要」
- ② (別記第3号様式)「2. 申請活動の内容」※上限10万円コースは一部記入不要
- ③ (別記第4号様式)「3. 対象経費の内訳書」
- ④ (別記第5号様式)「流域ネットワーク行動計画書」
- ⑤ 団体等の規約等
- ⑥ 構成員、または構成団体の名簿^{注)}

注) 構成員に団体として参画している場合は、団体の組織名と担当者の氏名を名簿に記載してください。

なお、提出書類の書式や記入方法は申請書記載例をご覧ください。

7 対象事業の決定

提出された助成申請書について内容の確認を行い、北海道、コカ・コーラ、財団、有識者などによる選考委員会を経て採択団体を決定し、通知(3月下旬の予定)します。対象経費の内容等により、減額での採択となる場合があります。

選考は、下記の視点により行います。

- 上記「2 対象となる事業」との整合性(テーマとマッチしているか)
- 水環境への貢献度
- 地域との連携(様々な主体による協働)
- 取組の継続性・将来性
- 波及性・共感性
- 新規性・独自性
- 環境課題の解決力
- 北海道らしさ

※ 連続助成への対応

複数年の連続助成についての回数制限はありませんが、複数年助成は設定しておりませんので、1年ごとに申請してください。また、1年目と2年目の内容が違い新たな取り組みや発展的な取り組みであることを除き、同様の内容に関する申請につきましては評価が低くなりますのでご注意ください。

8 助成金のお振込み

(1) 助成金のお支払いは口座振込により行います。個人名義の口座は認められませんので、採択団体に決定した場合は速やかに団体名義(「〇〇団体・代表××」など、流域ネットワークの場合は代表団体または資金管理団体

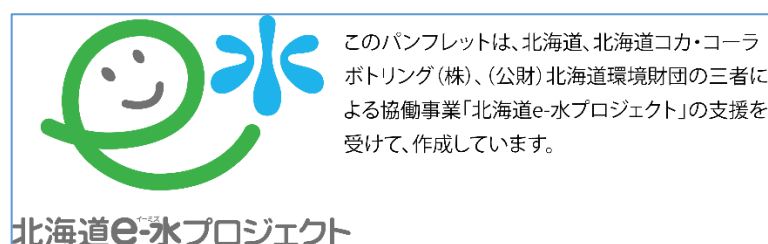
等)の口座をご用意ください。

- (2) 財団は、提出された助成報告書などについて、当該事業の申請資料と比較検査して事業費を確定した後に支払います。
- (3) 上限200万円コースを希望する採択団体には(または流域ネットワーク)には、5月中に助成決定額の50%(千円未満切り捨て)を前払いいたします。希望する団体は、4月17日(金)までに、事業費前払申請書(「精算等手引書(採択通知に同封します)」参照)を事務局まで提出してください。残額は、「精算払い」となるため、一部事業費の立替が必要になります。

9 留意事項

- (1) 交付する事業費は、活動内容や経費の精算状況によっては、交付決定額より減額されることがあります。
- (2) 対象の事業の実績が申請時の内容と著しく異なる場合は、事業費は交付されません。事業内容を変更する場合は、必ず事前に財団までご相談ください。
【ご注意!】助成事業の採択は、選考委員会の決定を経ています。事業の変更を出来るだけ避けるためにも、事前に関係者との調整をしっかりと行ってください。
- (3) 対象事業を中止又は廃止する場合、又は団体の代表者や所在地、流域ネットワークの代表団体が変更になる場合は、財団までご連絡ください。
- (4) この事業の決定交付を受けた団体(または流域ネットワーク)の名称、事業内容、交付金額は、公表します。
- (5) 対象事業で製作した造物物や配布物などの成果物には、「北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の助成を受けて作成しています。」などを表記し、また「北海道e-水プロジェクト」のロゴを掲載してください。ロゴは採択団体(または流域ネットワーク)にメールにてお送りします。また、セミナー・シンポジウム・研修会などの開催にあたっては、同様に表記、掲載してください。

ロゴサンプル



- (6) 上限200万円コースは、助成金の半額前払いを実施しておりますが、助成事業の支出が前払い額に満たなかった場合、前払い額との差額は返還していただきます。
- (7) 採択された活動団体（または流域ネットワーク）は、上限200万円コース（場合によって上限10万円コース）は、「キックオフミーティング」（2020年4月20日頃・午後、札幌市内にて開催予定）、「北海道e-水フォーラム」（2020年11月20日頃・札幌市内にて開催予定・公開）へ参加いただくとともに、本制度により実施する（実施された）事業について、パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを用いて発表していただきます。なお、「キックオフミーティング」「北海道e-水フォーラム」の参加に係る旅費は、別途支給（札幌市内の団体を除く）しますので、申請内容に盛り込む必要はありません。
- (8) 採択団体には、活動情報の事前告知や簡単な途中経過報告（写真、動画を含む）をお願いしております。いただいた内容は、北海道e-水プロジェクトのホームページやFacebook等にアップさせていただきます。写真や動画については、ホームページでの公開を前提に、参加者等への了承を得るようにしてください。

10 精算・報告

交付決定を受けた団体（または流域ネットワーク）は、下記の日程のいずれか早い期日までに、助成報告書を財団に提出いただきます。

提出期限 事業完了後20日以内又は2020年12月21日（月）

【留意点】

- ・ 報告書などの様式は、別途採択団体（または流域ネットワーク）にお知らせいたします。
- ・ 上限200万円コースは、助成報告書・事業報告書・精算報告書・支出明細書類（領収書等）、WEBレポート、活動写真を提出していただきます（精算手引書参照）。支出に関しては領収書などの証憑書類（写し可）も必要となりますので、保管と管理をお願いします。
- ・ 上限10万円コースは、事業報告書・WEBレポートのみの提出となります（領収証の写し提出不要ですが、団体にて保管と管理をお願いいたします）。

11 申請および問い合わせ先

制度内容や申請書類の作成などについて不明な点がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

<公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト係>

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL : 011-218-7811〔月～金10:00～18:00（祝日を除く）〕

FAX : 011-218-7812 / E-mail : emizu@heco-spc.or.jp

北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）

記入日 年 月 日

1. 団体の概要

団体名	(ふりがな)		
代 表 者	ふりがな		
	氏 名		
	団体の役職		
	所属住所 〒		
	TEL	FAX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな		
	氏 名		
	役職		
	所属住所 〒		
	TEL	携帯	FAX
	E-mail		
設 立 年 月			
構 成 員 数	人		
活動地域 活動実績			
団体等の ホームページ			

※ 団体等の規約等と構成員名簿を添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（流域ネットワーク用）

記入日 年 月 日

1. 流域ネットワークの概要

流域ネットワーク名	(ふりがな)		
代表団体	団体名	代表者名	
	住所 〒		
	TEL	FAX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな		
	氏 名		
	所属 (ふりがな)		
	所属住所 〒		
	TEL	携帯	FAX
	E-mail		
会計担当者 (事務局と 異なる場合)	ふりがな		
	氏 名		
	所属 (ふりがな)		
設 立 年 月			
構成団体数(員数)	団体 (人)		
(構成団体の) 活動地域 活動実績			
ネットワーク構成団体等の ホームページ			

※流域ネットワークの規約等と各構成団体の名簿を添付してください。各構成団体の名簿には、団体名、担当者の所属・職・氏名など、個人の場合は居住地（市町村）を記載してください。

別記第3号様式(共通)

2. 申請活動の内容（上限10万円コースは、①～⑤のみ記入してください。）

①事業名称	様々な報告書等に掲載されますので簡潔でわかりやすい名称としてください。									
②助成コース	☐ 上限200万円コース ☐ 上限10万円コース	申請金額								円
③活動地域	希少動植物の生息場所等にご注意ください。									
④活動内容概要 300字以内で まとめてください。										
⑤活動内容の詳細										

⑥活動実施に至った経緯および活動目的、解決したい環境課題
⑦協働パートナーと役割分担
⑧活動期間におけるスケジュール
⑨活動による水環境保全効果
⑩活動の総予算額：自主財源などを含めた総予算額になります。
万円
⑪他の助成制度、補助などへの申請状況
⑫次年以降の取組予定

※ 団体名、事業名は、報告会やホームページ等に掲載されます。
 ※ 他に資料を添付しても構いませんが、この用紙にわかりやすく活動内容をご記入ください。
 ※ 「２．申請活動の内容」は、４ページ以内にしてください。

別記第4号様式(共通)

3. 対象経費の内訳書

[illegible]

流域ネットワーク行動計画書

申請者名称	
活動流域の 範囲(地域)	
行 動 計 画 の 内 容	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境の現状と課題)
	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境保全に関する目標と2020年以降の予定)
	(流域ネットワークとして当制度申請事業以外での取組)

※ 活動項目が多いなどの理由により、この様式への記入が困難な場合においても、この様式に簡単にまとめた上で、別の事業計画書を添付してください。
その他、申請活動に伴う補足資料などがありましたら、添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（団体単体用）

記入日 年 月 日

1. 団体の概要

団体名	(ふりがな) ○○○○○○をまるかい ○○○○○○○を守る会		
代 表 者	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏 名	○○ ○○	
	団体の役職 会長（代表、理事長など）		
	所属住所 〒XXX-XXXX ●●市●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX	FAX XXX-XXX-XXXX	
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏 名	○○ ○○	
	役職 事務局長（会計、事業課長など）		
	所属住所 〒XXX-XXXX ●●市●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX	携帯 090-XXXX-XXXX	FAX XXX-XXX-XXXX
	E-mail XXXXXX@XXXXX.jp		
設 立 年 月	平成21年4月		
構 成 員 数	30人		
活動地域 活動実績	○○市内の○○沼 ○○ザリガニの防除活動を○○年から実施 ○○小学校への環境教育を実施 ○○の人工ふ化を実施		
団体等の ホームページ	http://WWW.XXXXX.jp		

※ 団体等の規約等と構成員名簿を添付してください。

北海道e-水プロジェクト助成申請書（流域ネットワーク用）

記入日 年 月 日

1. 流域ネットワークの概要

流域ネットワーク名	(ふりがな) ○○○○○○かわほぜんネットワーク ○○○○○川保全ネットワーク		
代表団体	団体名	○○○○○をまもるかい ○○○○○を守る会	代表者名 ○○○○ ○○○○ ○○ ○○
	住所 〒XXX-XXXX ●●町●●条●丁目●-●		
	TEL XXX-XXX-XXXX		FAX XXX-XXX-XXXX
事務局などの 所在地 あるいは 主な連絡先	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏名	○○ ○○	
	所属 (ふりがな) ○○○○をきれいにする会		
	所属住所 〒		
	TEL XXX-XXX-XXXX		携帯 090-XXXX-XXXX FAX XXX-XXX-XXXX
	E-mail XXXXXX@XXXXX.jp		
会計担当者 (事務局と 異なる場合)	ふりがな	○○○○ ○○○○	
	氏名	○○ ○○	
	所属 (ふりがな) ○○○かわに○○をもどすかい ○○○川に○○を戻す会		
設立年月	平成29年5月		
構成団体数(員数)	12 団体 (延べ250 人)		
(構成団体の) 活動地域 活動実績	○○川流域5市町村 ○○川の清掃を平成○○年から実施 流域の河畔林の再生を平成○○年から実施		
ネットワーク構成団体等の ホームページ	http://WWW.XXXXX.jp		

※流域ネットワークの規約等と各構成団体の名簿を添付してください。各構成団体の名簿には、団体名、担当者の所属・職・氏名など、個人の場合は居住地（市町村）を記載してください。

2. 申請活動の内容（上限10万円コースは、①～⑤のみ記入してください。）

①事業名称	様々な報告書等に掲載されますので簡潔でわかりやすい名称としてください。 ○○○○○○プロジェクト、○○○保全事業、○○○○○○○活動など									
②助成コース	☐ 上限200万円コース ☐ 上限10万円コース	申請金額								円
③活動地域	希少動植物の生息場所等にご注意ください。 ○○市内○○川流域									
④活動内容概要 300字以内で まとめてください。	活動内容の概要を 300 字以内でまとめてください。 採択された場合は、この文章が公開されます。									
⑤活動内容の詳細										
公募要領の「9 対象事業の決定」をよくお読みいただき、選考の視点に沿って活動内容を具体的に記載してください。「想い」ばかりが強くなっても、簡単すぎて活動内容がわからない説明でも伝わりません。 また、採択されてからの大幅な変更はできませんので、一緒に活動するメンバーと内容をよく話し合ってください。										

⑥活動実施に至った経緯および活動目的、解決したい環境課題
⑦協働パートナーと役割分担
申請する活動に関わる強度パートナーの名称とその役割についてご記入ください。 (例) ○○町内会 (住民への広報) ○○町役場 (事務局機能) ○○小学校 (活動への参加)
⑧活動期間におけるスケジュール
申請段階で予定している活動スケジュールを記載してください。 (例) ○月上旬 事業の広報 ○月中旬 事業実施 ○月下旬 データ分析
⑨活動による水環境保全効果
⑩活動の総予算額：自主財源などを含めた総予算額になります。
万円
⑪他の助成制度、補助などへの申請状況
⑫次年以降の取組み予定

※ 団体名、事業名は、報告会やホームページ等に掲載されます。

※ 他に資料を添付しても構いませんが、この用紙にわかりやすく活動内容をご記入ください。

※ 「2. 申請活動の内容」は、4ページ以内にしてください。

3. 対象経費の内訳書

対象経費	単価(円)	数量	金額(円)	説 明
①謝金			(100,000)	
専門家謝礼	20,000	5	100,000	フォーラム講師謝金
②旅費			(210,000)	
専門家招聘旅費	40,000	3	120,000	フォーラム講師旅費 札幌市⇄〇〇町
スタッフ旅費	30,000	3	90,000	講師打合せ 〇〇町⇄××市
③消耗品費			(130,000)	
材料購入	5,000	16	80,000	木道製作用資材
コピー用紙など	50,000	1	50,000	
④食料費			(10,000)	
弁当代	500	20	10,000	
⑤印刷製本費			(400,000)	
ポスター印刷	500	200	100,000	イベント広報用ポスター
チラシ印刷	20	5,000	100,000	イベント広報用チラシ
パンフレット印刷	200	1,000	200,000	啓発パンフレット
⑥借料・損料			(250,000)	
重機借上	50,000	5	250,000	水辺の整備用重機
⑦通信運搬費			(30,000)	
各種郵送費	150	200	30,000	
⑧賃金			(320,000)	
臨時職員	8,000	40	320,000	助成対象事業専従
⑨その他			(450,000)	
看板制作工事費用	520,000	1	420,000	事業実施に必要な構築物製作外注費
行事保険料	30,000		30,000	行事参加者保険料
小 計			1,900,000	
⑩一般管理費			100,000	1,900,000×20% = 380,000円のため、 上限の100,000円とする
			※助成対象経費の内訳を記載してください。 (事業活動の総予算の内訳は必要ありません。)	
			※単価など、明確にわかっているものは正確に記載してください。 不明なものは、予定(概算)で記載してください。	
合 計			2,000,000	

流域ネットワーク行動計画書

申請者名称	〇〇〇〇〇川保全ネットワーク
活動流域の 範囲(地域)	〇〇市内〇〇川流域
行 動 計 画 の 内 容	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境の現状と課題)
	流域内の課題を意識して記入してください。
	(流域ネットワーク内で共有している流域の水環境保全に関する目標と2020年以降の予定)
	本申請の内容に関わらず、流域ネットワークとしての 目標を記載してください。
	(流域ネットワークとして当制度申請事業以外での取組)

※ 活動項目が多いなどの理由により、この様式への記入が困難な場合においても、この様式に簡単にまとめた上で、別の事業計画書を添付してください。